

ナイスケアだより

第137号
令和5年10月発行

9月27日、東京ビックサイトで開催された『国際福祉機器展』にナイスケア事業所ケアマネジャーのメンバーで参加してきました。最新の福祉機器の展示やイベントなどが行われ、医療・福祉関係者だけでなく一般の方も多く来場されていました。



午前中は、淑徳大学・結城教授の『2024年介護保険制度改正・報酬改定』の講義を聞きました。介護事業所としては人手不足の中、厳しい現状は変わらない印象でした。午後は福祉機器展の各ブースを見学しました。高機能のエアーマット、車椅子フットレストが自身で折り畳みできる商品など見たことのない商品が展示されていました。用具のデザインも華やかでパステルカラーの手すりや杖なども展示され、選ぶ楽しさを感じました。ケアプランや業務管理のソフトはAI搭載モデルなどがたくさん展示されていましたが、一長一短でどれがよいか難しかったです。

今回の見学を通して感じたことは、最新の福祉機器やAIソフトが次々開発されていますが、どれも人の変わりにはできないということです。ロボットやAIなどの機器を使用しても人の手や愛情、経験した知識にはまだまだ叶わない印象です。とはいえ道具として人が上手に使用すれば自立支援や介護事業所として効率化に繋がるものもあります。それぞれの状況に合わせて道具をどう使用するかを考えて役立てることが大切と感じました。



有限会社ナイスケア 代表取締役 塩川 隆史

～さつまいも

残暑も落ち着き、ようやく秋らしくなってきました。読書の秋、スポーツの秋、芸術の秋など、『〇〇の秋』はたくさんありますが、私はやっぱり『食欲の秋』です。秋の味覚といえば、栗、サンマ、松茸などの美味しい食べ物が旬を迎えます。私はその中でもさつまいもが大好きです。今がまさに旬のさつまいもについて調べてみましたので、ご紹介したいと思います。

さつまいもは、1600年頃に中国から日本にやってきました。琉球(沖縄)から薩摩(鹿児島)に伝わったことで、日本ではさつまいもと呼ばれています。安納芋や鳴門金時など、日本で正式に栽培されているさつまいもの品種は約60種類もあるそうです。さつまいもにはビタミンやミネラルや食物繊維などの栄養素が多く含まれています。なかでもビタミンCはりんごの5倍もあり、ビタミンCを摂ることによって風邪予防や疲労回復の効果が期待されています。また食物繊維には、一般的に知られている便秘を解消させる作用だけではなく、血液中のコレステロールを低下させる効果もあります。

みなさんはさつまいもをどのようにして食べるのが好きですか？私はシンプルに焼き芋が好きです。

季節の変わり目は体調を崩しやすいですので、お体に気を付けてお過ごしください。

柿木 亜矢子